

財源と市民サービス確保を目的としたが……

今年は旧上越市と旧13
 町村が合併してから20年
 という節目の年にあたりま
 す。このレポートでも、こ
 れまでの歩みを振り返り、
 市民こそ主人公の上越市を
 つくつていくためにどうし
 たらいいかを考えていきた
 いと思います。

今回はその序章です。左
 の囲みの文章は、いまから
 20年前の1月4日に書いた
 私のブログです。行政の
 責任者がスタート時点で何
 を考えていたかの一端が見
 ええます。「合併によって行
 政サービスが後退したと言
 い」。当時の木浦市長が各
 総合事務所の開所式に向け
 た言葉です。次回は、その
 事態に迫ります。

20年前の1月4日に書いた私のブログです。行政の責任者がスタート時点で何を考えていたか的一端が見えます。「合併によって行政サービスが後退したと言われないうようにしてほしい」。当時の木浦市長が総合事務所の開所式に向けた言葉です。次回は、その実態に迫ります。

1月4日（火）開所式

きょうは仕事始めです。通例なら仕事始め式が行われるのですが、吉川区総合事務所では朝8時15分から開所式が行われました。総合事務所玄関脇には、これまで吉川町役場という文字が貼り付けられていた四角いプレートがありました。常山所長と山田次長がこのプレートの除幕をすると、現れたのは吉川区総合事務所という名前でした。これで吉川



区総合事務所はスタートを切りました。また、これまで町章入りの旗を掲げてあったポールですが、きょうからは上越市の旗が掲げられました。

開所式では、木浦上越市長のメッセージが常山所長によって代読されました。かなり長い文章でしたが、印象に残った言葉があります。「合併によって行政サービスが後退したと言われないようにしてほしい」「21万市民のために仕事をしているという自覚をもってもらいたい」。前者については、一般論として述べたつもりなのですが、若者定住助成金制度など後退したものがいくつもあるだけに、空々しく聞こえました。



4月上旬に誕生した吉川区のコウノトリの3羽のヒナたちは順調に生育しています。成長の一番早かったヒナはすでに羽ばたきの練習を開始しています。近いうちにジャンプの練習も始めることでしょう。



頸城区森本の白田邸に10日、行ってきました。ここは昨年の能登半島地震で被災し、壁が落ちるなどの被害が出ていました。震災後、日本共産党議員団で被害状況を視察させてもらっていました。

このほど補修工事が終わって、復旧された状況を白田さんから説明してもらいました。

壁は、どこが被災したかわからないほどきれいになっていました。良かったです。

せっかくですので、建物の内部、歴史資料、庭の様子なども見学させてもらいました。会場では、何人もの友人、知人などに会いました。

明してもらいました。
壁は、どこが被災した
かわからないほどきれ
いになっていました。
良かったです。

せっかくですので、
建物の内部、歴史資
料、庭の様子なども見
学させてもらいまし
た。会場では、何人も
の友人、知人などに
会いました。



【シャク】（再掲）。セリ科の多年草。漢字で「杓」と書きます。最初に見たのは吉川区の下町でした。吉川のそばの湿った場所で小さな花をいっぱい咲かせていました。小さな花もいっぱい咲かせれば目立ちます。葉は人参の同じ感じで、若芽は山菜となるとか。花期は5月～6月。花言葉は「感謝」「優雅」など。13日、柿崎区黒岩にて撮影しました。

はしづめ法一の 活動レポート

No.2203 2025.5.18

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← [こちら](#)

橋爪法一

檢 索

春よ来い

第八五〇回 後期高齢者

これまでずっと走り続けてきて、疲れて歩き始めたら自分の姿が変わっていた。すでに祖父音治郎の歳を越えている。最近、こんなことを意識するようになりました。

この間の土曜日だったでしょうか。自分の喉に手を当てておかしいなと思いました。ウワミズザクラの実のような小さなものがぶら下がっていたのです。鏡でよく見ると、体内から出た明らかな異物です。家族に話すと、「医者に行ったら……」と言われました。

休み明けの月曜日の午後、十数年前にかかったことのある皮膚科医院へ向かいました。駐車場に着いて、保険証を取り出して見たら、有効期間が七月末日ではなく、三月二三日となっていました。

その時点でやっと、気づきました。「そうだ、おれは七五歳、後期高齢者になったんだ。保険証もこれまでとは違うものになっていく」と。いやはや、情けない。医院の受付に行って事情を話しましたが、診察、治療はしてもらえないものの、保険は使えないのでとりあえずは全額負担してもらうことになると言われました。

待合室は満杯でした。でも約三〇分待つて声がかかりました。お医者さんからは、「大丈夫だと思えますが、一応薬は飲んでみますか。二週間分、出しますの」と言われました。正直言って、「細胞の一部を採って検査してみましよう」と言われる可能性もあると思っていましたので、ホッとしました。終わってから、会計の窓口で支払った金額は四二九〇円でした。

皮膚科医院を離れてからまっすぐに家に向かいました。というのも、薬局に行く前に保険証を取りに行かなければと思ったからです。

ところが、困ったことになりました。その保険証が入っていると思った机の引き出しにはなかったのです。何回も中のものを

取り出してチェックしましたが、見当たりません。家族の者からは、「一番大事なものをしまっ場所にあるんじゃないの」と冷やかされました。

それで、最後は、通帳などを入れている場所を長女から見てもらいました。何というところでしよう、入れた記憶のない引き出しのなかに保険証がちゃんとあったのです。これまでの保険証とは違って、ハガキの半分くらい大きな保険証でした。市役所から送られてきたとき、忘れてはならない大事なものだから、一番目につきやすい場所にとしまっていたのです。連れ合いからは、「この人は一番遠くから探すんだから……」とまで言われてしまいました。

結局、この日は保険証探しだけで一時間近くかかってしまい、薬局へ行くことができませんでした。

後期高齢者になったことを思い知らされたケースはもう一つあります。右ヒザの痛みで正座できなくなったことです。これも喉の異物とほぼ同じ頃に体験しました。

大島区旭地区の親戚の家で不幸があり、弔問に出かけたときのことでした。焼香する際に正座しようとしたら、足をまともに曲げられないことに気づきました。最後は曲がるかと思って何度か挑戦しましたが、やはりだめでした。ヒザを痛めていたから、いつかはそうなるとは思っていましたが、まさかこんなにも早くその時がやって来るとは思っていませんでした。

保険証のことといい、正座のことといい、これまでとは違った展開に困惑しました。後期高齢者というのは、これまでできなかったことができなくなっていく年代です。シャツのボタンがはめられない、ペットボトルのキャップが開けられないなど困ったことが予想されます。でも、そんなことに負けてはいられません。まだこれから挑戦しやりたいことがいくつもあるのです。

スカイグランプリの競技、今回は実施

上越市長杯尾神岳スカイグランプリ2025の開会式が10日、行われました。天気はあいにくの曇り空でしたが、北海道、福岡県などから70人ほどの選手が参加しました。

いつも悪天候に悩まされる大会ですが、今年は適度な風が吹き、競技も行われました。良かったです。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	5月7日(水)	5月14日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.040	0.040
新井消防署	0.040	0.050
頸北消防署	0.050	0.050
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.053	0.050
名立分遣所	0.050	0.057
高士分遣所	0.053	0.057

大杉の里、楽しく運動会



10日、障がい者の就労支援などを行っている大杉の里のみなさんの運動会を吉川体育館で見してきました。

玉入れ、ボーリングの種目では笑いが絶えることなく、楽しそうでしたね。スタッフのみなさんがテキパキと動き、司会の方がユーモアたっぷりの言葉を発しているのにも注目しました。